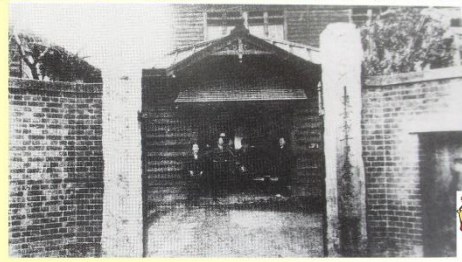


7月8日 全校朝会の話 「開校記念日」

7月5日、学校がお休みでした。どうしてお休みだったか、知っていますよね。千束小学校の開校記念日、千束小学校ができた日をお祝いしてのお休みでした。

千束小学校は、今年、創立119周年です。119年前、明治39年、1906年に作られました。当時、東京の町はどんどん大きくなっていき、浅草に住む人も多くなっていて、たくさんの地域の人が、千束にも学校を作りたいと、浅草区にお願いをして、作られたのが昔の千束小学校です。当時の小学校は尋常小学校と言って4年生までしかありませんでしたが、開校したときには、600人以上の子どもが入学したそうですので、みんなが待ち望んでいた学校だということが分かります。写真は、明治39年にできたときの正門です。レンガ造りで、堂々としていますね。

めいじ ねん かいこう せんぞくしょうがっこう げんかん
明治39年に開校した千束小学校の玄関



地域の人たちが待ち望んだ、新しい千束小学校、600人以上の子どもが勉強している千束小学校です。新しい学校ができたお祝いをするために、当時の区長さんもお見えになって、「開校式」というお祝いの式をしました。その、開校式を行ったのが、7月5日でした。それで、千束小学校の開校記念日が7月5日なのです。

さて、今、学校から、日本一のタワー「東京スカイツリー」が見えます。日本だけでなく、外国からのお客さんが、たくさん集まる場所になっています。

千束小学校ができた明治39年に見えたものは、「浅草凌雲閣」でした。12階建ての展望ビルで、明治23年にできた当時は、日本で一番高い建物でした。また、日本で初めてエレベーターが使われた建物もあり、「浅草凌雲閣」に登るために、多くのお客さんが浅草に集まったそうです。関東大震災という大地震で、崩れてしまいましたが、今の、ひさご通りのとなりのスーパーマーケットがあるあたりに、立っていたそうです。

千束小学校ができてから、119年が過ぎましたが、日本一の建物を見ながら勉強しているという共通点があるのは、不思議な感じがしますね。

なお、千束小学校の会議室には、凌雲閣から千束小学校がこんな風に見えたのでは、と想像して書いた絵が飾られているので、先生にことわって、見てみてください。

千束小学校から見える東京スカイツリー



めいじじだい せんぞくしょうがっこう こ み おも
明治時代の千束小学校の子が見たと思われる
凌雲閣（りょううんかく）

